

# 山形県保健師長会ニュースレター

平成31年2月1日 第15号 発行：山形県保健師長会

寒さが一段とつよつよになってまいりましたが、会員の皆様には健やかに過ごしのことと存じます。山形県保健師長会ニュースレター第15号をお届けいたします。

今回は全国保健師長会代議員総会並びに研修会等の報告です。

## 平成30年度 第40回全国保健師長会代議員総会出席報告 (愛知県)

○平成30年11月10日(土)に名古屋市において第40回全国保健師長会代議員総会が開催され、全国から代議員148名(委任状138名)が出席しました。山形県からは小松会長と安藤書記が出席しました。

今年度は、全国保健師長会発足40周年という記念すべき節目にあたり、総会後には40周年記念事業として、歴代会長のリレートークが行われました。総会では、平成29年度事業報告、平成30年度事業経過報告、2019年度事業計画(案)、収入支出予算(案)等の提出議題が出され可決されました。

今回の新たな議題として「特別委員会について」「全国保健師長会規約の改正(案)」が出され、特別委員会は、「40周年記念事業特別委員会」や「保健師活動指針推進特別委員会」が今年度末で廃止されることになり、代わりに「災害保健活動特別委員会」が新設されました。規約改正については、出席者の過半数の賛同が得られなかったため、可決されませんでした。規約改正については、来年度の役員で改めて検討し直されることとなりました。

当日、代議員総会で出された「全国保健師長会規約の改正(案)」は次のとおりです。

### 1. 改正理由

多くの保健師が全国保健師長会に参加できる体制を整える。

### 2. 改正内容(改正箇所のみ抜粋)

現 行	改 正 案
第5条 1) 自治体に勤務し保健師長と同等以上の職にあるもの 2) 保健師長と同等以上の職にあるもので本会の趣旨に賛同するもの	第5条 2) 保健師長と同等以上の職にあるもの*またはあったもので本会の趣旨に賛同するもの

※またはあったもの:退職した会員を指す(退職後、どこかの団体等に所属している保健師は、現行の2)で加入することが出来るが、在宅保健師は現行の規約では加入できないため)

○40周年記念事業歴代会長によるリレートーク

### ■ テーマ「未来を創造する保健師活動について

～後輩保健師たちに伝えたいこと～

登壇者 第10代会長 大場 エミ 氏  
第11代会長 加藤 静子 氏  
第12代会長 鎌田 久美子 氏



【写真出典:全国保健師長会  
ホームページより】

## 平成 30 年度全国保健師長研修会参加報告（愛知県）

○ 平成30年11月8日（木）～9日（金）愛知県名古屋市にて開催、全国から358名が参加しました。

### 【テーマ】「効果的な保健活動の展開に向け、リーダーに求められること」

- ・「効率的」とは、限られた人員体制・予算を用いて、最大限の実績を出すこと
- ・「効果的」とは、課題設定や解決策の選択を適切に行い、具体的な実施方法を工夫することにより、大きな成果を上げること

～実践報告から～

○PDCA サイクルを回し、事業のスクラップ&ビルドを行う。

- ・「分析してから、事業を」と考えていると、全く先に進まない。まずは実践してみてから分析も並行して進めた方が効率的。
- ・やるべきことは山のようにある。すぐに出来ることから始め、効果のないものはどんどんやめる。
- ・職員を増やすことに労力を費やすより、補助金を活用して専門職や事務職を雇い、チームとして仕事出来る体制を作り、効果をわかりやすく財政担当者・人事担当者に示す。

○ 内容

### ■ 講演「地域保健をめぐる国の動向」

講師 厚生労働省健康局健康課

保健指導室 室長 加藤 典子 氏

全国の保健師数は3万5千人以上。保健師は地方公務員の中でも人数の伸び率が高いが、今後、人口が減少していくなか、保健師の（数の）確保が今後課題となっていく。その対応策として、非常勤保健師との連携が考えられる。

統括保健師の配置数は、市町村でも51.8%と半数を超えている。今後は統括保健師がどのような役割を担っているのか、統括保健師を置いたことでどのような成果が得られたかが求められてくる。

### ■ 講演「これからの保健師活動に求められること」

講師 全国保健師長会会長 青柳玲子 氏

所属分野ごとにみた強化すべき保健師活動

#### 市町村

- ・保健師の活動分野の拡大により、組織横断的な取り組みの推進及び統括保健師の配置の促進
- ・権限移譲や制度改革により責務が拡大→効果的に事業や活動を展開できる仕組みの構築

#### 保健所設置市

- ・基礎的役割を果たす自治体としての機能と保健所としての機能の双方が求められる
- ・保健所・保健センターのそれぞれの役割・機能の整理と明確化を図り、各種施策を効果的に展開できるような体制整備

#### 都道府県

- ・年齢階層保健師の偏在が課題とされるため、人材育成体制の強化
- ・広域的に各種情報を分析し、広域的・専門的・持続可能な活動による、市町村との協働の取組を推進する。（市町村支援から協働へ）

### 全国保健師長会40周年記念誌 40歳からのメッセージより

- ・相手の力を信じて寄り添うことを忘れずに、住民や関係機関のよき理解者として支援していきたい。
- ・「目指すべき姿」を市民とともに描きながら、地域の強みを活かした保健師活動を行っていきたい。
- ・人生100年時代に向けて、超少子高齢社会と向き合う保健師として“勉強・発想の転換・挑戦”に努め、“人”を大切にその人らしく暮らせる地域づくりの活動に取り組んでいきたい。